

文芸しろさと

俳句

笹鳴のかきこそ共に生きてをり
中野 千賀子
禅寺へ登る石段木の芽吹く
綿引 英子
桜でんぶ入れて春待つ恵方巻
岩澤 とし江
踊り子の生まれ変はりて君子蘭
園部 洋一
春の雪とけて道路を光らせし
飯田 勇一
アイロンを滑らせてをり雪の夜
竹内 幸子
一翫のあとの青空椽大樹
田口 勝元

川柳

マスクとれ目だけの時よりシワが増え
車田 綾子
顔合せ外しずらいな顔パンツ
飯村 孝一
三年もかけたマスクやつとれ
川原 清
腹白の黒猫現在活躍中
袴塚 貴子
短歌
ひと品の足りぬ豚汁味付けに
気合いも入れて梅の盛りを
信田 育子
女孫は高校合格の嬉しさに
面映ゆく笑む十六の春
富田 佐智子

QRコードの時代に馴染め
ねど春には春の花庭に咲く
萩谷 登喜子
目を伏せて空へのびゆくキリ
ンの子月の光は母さんの色
矢次 洋平
息子から届いた祝いガジュ
マルは健康願う花言葉あり
富田 欽子
遠き日に友らと歌ひしロシア民
謡今のロシアを思ひみざりし
渡辺 千紗子
川土手にオカリナを吹く男いて
流れの波に寄せる「ふるさと」
西郷 英治
ウクライナの映像みればよみがえ
るリック背負いて引揚げしかの日
山形 式妙

マスクの着用は「個人の判断」で



3月13日から、マスクの着用は個人の判断が基本となりました。

ただし 次の2つの場面はマスクを着用しましょう



医療機関や高齢者施設などを訪問する時



通勤ラッシュ時など混雑した電車・バスに乗車する時

マスクの着用が効果的です

重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時



高齢者



基礎疾患を有する方



妊婦

本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないように、ご配慮をお願いします。

問合せ 健康保険課 健康増進グループ
☎029-240-6550



しろさとまち通信

—城里町地域おこし協力隊— Vol.84

城里町地域おこし協力隊の連載、4月号は安達智弘が担当します！



▲にんにくを栽培している様子

寒さも和らぎ暖かく過ごしやすい日が増え、すっかり春になりましたね。農業政策課所属地域おこし協力隊の安達です。
今年はスギ・ヒノキ花粉の大量飛散ということもあり、花粉症がひどく、鼻をすすりながら農業研修を行っている今日この頃です。
現在は、独立就農後のメイン作物として選んだアスパラガスについて学ぶため、アスパラガス農家さんの元で長期研修を行っています。アスパラガスに加え、里芋やにんにくなどの野菜にも携わらせていただき、いろいろな経験ができて充実した日々を送っています。
アスパラガスは一度植えれば10年以上栽培できる作物で、毎年4月から9月までが収穫期間です。冬場は寒さで枯れた茎葉の刈り取

り、圃場の残渣をバーナーで焼く病害虫防除、堆肥撒きなどが主な作業です。その中でも、堆肥撒きは量も多く手作業となるため重労働です。しかし、冬場の作業としては程よく汗をかき、体も温まるので好きな作業です。これで冬場の作業が完了し、春の芽生えに向けての準備が整います。アスパラガスの栽培は、秋から携わらせていただいているので、これからの芽生えが楽しみです。
ちなみにアミノ酸の一種である「アスパラギン酸」は、アスパラガスから発見されたみたいですね。名前が似ていますね。
今年度も協力隊同士で協力しながら、農業を軸とした地域活動と就農に向けて頑張っています。

問合せ 農業政策課
☎029-288-3111(内線253)